

お盆について

先祖が浄土から地上に戻ってくると考えられ、その時期をお盆と言います。一年に一度、家に先祖の精霊をお迎えして、ひと時をすごし、ご冥福をお祈りして供養します。一般的に8月13日～16日となりますが、地域によってお盆の期間は違ってきます。

お盆の風習は地方や宗派によって大きく異なりますが、13日に迎え火でお迎えして、16日に送り火であの世にお送りします。盆中の14日・15日は家族と同じ食事をお供えします。また、先祖を供養するために、地域により盆踊りなどの行事があり、全国にさまざまな風習が残っています。

迎え火と送り火とは

迎え火は先祖の精霊が現世に迷わずに帰ってこられるようにという意味をこめ、送り火は一緒にすごした先祖の精霊が無事に帰ることをお祈りするものです。焙烙皿にオガラ（皮をはいだ麻の茎）を折って燃やすのが一般的ですが、提灯を使うこともあります。

送り火として京都の「五山送り火」が有名で、「灯笼流し」も同じ意味で行われる風習の一つです。

迎え火と送り火に精霊馬（ナスとキュウリ）を飾る地域がありますが、お盆にご先祖が行き来するための乗り物の意味があります。キュウリは速い馬を見立て、ご先祖が早く帰って来るようにと。ナスは牛と見立て、少しでも長くすごしてもらうためや供物をたくさん持ち帰れるという意味もあるとされています。

盆踊りとは

帰ってきたご先祖を弔うための念仏踊り、豊作祈願とも言われ、日本全国の地域ごとに成り立ちや特徴を持っています。現代の盆踊りは、地域の活性化や町おこしなど観光産業となっているところもあります。

日本三大盆踊りは、徳島県の阿波踊り、秋田県の西馬音内盆踊り、岐阜県の群上八幡盆踊りが有名です。

地方で行われるお盆の行事やイベント

北海道

◎ 北海盆踊り／北海道各地

大規模な盆踊りとしては「三笠北海盆おどり（三笠市）」「復活北海盆踊り（岩内町）」「さっぽろ夏まつり北海盆踊り（札幌市大通公園）」があります。

東北地方

◎ 黒石よされ／青森県黒石市

市内を踊りながらねり歩く「流し踊り」がある盆踊り。500～600年前からあったと言われ、「エッチャホー、エッチャホー」の掛け声に合わせて踊ります。

◎ 舟っこ流し／岩手県盛岡市

送り盆の行事として、遺影や戒名などを書いた札、提灯やお供え物を飾った数メートル程の小舟に火をつけ北上川に流します。

<http://moriokafunekkonnagashi.com/pictures.shtml>

関東地方

◎ 佃島の盆踊り／東京都千代田区

無念仏の供養のため、単調な太鼓と口説き唄に合わせて、櫓のまわりを静かに踊る伝統的な風物詩。東京都の無形民俗文化財に指定されています。

◎ 百八灯流し／栃木県栃木市

巴波川の舟運安全祈願と108の煩惱を水に流すための伝統的な仏教行事。舟の端に火を灯した108本ものローソクを並べ、御神船が雅楽の音の中を進む姿は幻想的です。

<https://www.tochigiji.or.jp/image/>

中部地方

◎ 遠州大念仏／静岡県浜松市

初盆を迎えた家を訪問し、太鼓や鐘などにあわせて念仏踊りを披露し、供養を行います。大念仏の一行は笛、太鼓、鉦、歌い手など約30人。遠州地方の夏の風物詩です。

近畿地方

◎ 五山の送り火／京都府京都市

8月の京都は個々の家で先祖の精霊を迎える迎え火が行われ、16日に行われる五山の送り火で、この精霊を再び冥土に送り帰すといわれ、送り火の消炭は疫病除け・魔除けになると伝えられています。

<http://sozai-free.com/sozai/00520.html>

四国・中国地方

◎ 盆燈籠・盆灯籠／広島県の安芸地方

お盆の時期に灯籠型の飾りをお墓にお供えする風習となります。その形から「朝顔燈籠」とも呼ばれています。

◎ 阿波踊り／徳島県全域

400年の歴史を持ち、徳島県内、全国で数多く開催されています。毎年8月12日から15日まで4日間の開催される徳島市の「阿波おどり」が最も有名で、全国最大規模となります。

<https://www.awanavi.jp/site/photo/>

九州地方

◎ 精霊流し／長崎県内各地

お盆の前に死去した人の霊を弔うために、遺族が手作りの大小様々な舟を造り、舟を曳きながら街中を練り歩き、霊を極楽浄土へ送り出すという伝統行事です。